



新明和工業株式会社

2022 年 3 月期 第 2 四半期決算説明会

2021 年 11 月 16 日

イベント概要

[企業名]	新明和工業株式会社
[企業 ID]	7224
[イベント言語]	JPN
[イベント種類]	決算説明会
[イベント名]	2022 年 3 月期 第 2 四半期決算説明会
[決算期]	2021 年度 第 2 四半期
[日程]	2021 年 11 月 16 日
[ページ数]	20
[時間]	16:00 – 16:22 (合計：22 分、登壇：22 分)
[開催場所]	インターネット配信
[会場面積]	
[出席人数]	
[登壇者]	1 名 取締役社長 五十川 龍之（以下、五十川）

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasia.com

2022年3月期 第2四半期決算 サマリー

ShinMaywa
VISION WITH INSIGHT

(単位：百万円)

	2021.3期 2Q	2022.3期 2Q	増減 (増減率)
売上高	93,783	100,264	+ 6,481 (+ 6.9%)
営業利益	3,807	4,438	+ 631 (+ 16.6%)
経常利益	3,824	4,698	+ 874 (+ 22.9%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,107	3,362	+ 1,255 (+ 59.6%)
為替レート (1USD)	107.1円	110.0円	

前年同期比

- ✓ 航空機を除く全てのセグメントで増収となり、全体でも増収
- ✓ 増収に伴い、増益

※ 当資料に掲載されている内容のうち数値は表示単位未満を切り捨て、比率は四捨五入して表示しています。
※ 当資料において「1Q」は3カ月累計期間、「2Q」は6カ月累計期間、「3Q」は9カ月累計期間、「通期」は12カ月累計期間を示しています。

© 2021 ShinMaywa Industries, Ltd.

2

五十川：新明和工業の五十川でございます。ただ今から、2022年3月期第2四半期の決算説明を行います。

まず、連結決算サマリーについて説明いたします。

こちらは、2022年3月期第2四半期の主要な業績数値について、それぞれ前年同期と比較した表であります。

売上高につきましては、航空機を除く全てのセグメントで増収となり、64億円増の1,002億円となりました。利益につきましても、増収に伴い、営業利益は、前年同期比で6億円増の44億円。経常利益は、8億円増の46億円。親会社株主に帰属する四半期純利益は、12億円増の33億円となりました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

2022年3月期 第2四半期決算 セグメント別

ShinMaywa
VISION WITH INSIGHT

(単位：億円)

セグメント	売上高			営業利益		
	2021.3期 2Q	2022.3期 2Q	増減	2021.3期 2Q	2022.3期 2Q	増減
航空機	132	101	△30	△1	△4	△2
特装車	436	483	+46	31	35	+4
産機・環境システム	140	163	+23	△0	1	+2
パーキングシステム	154	178	+23	16	19	+2
その他	73	75	+1	5	4	△1
調整額	—	—	—	△12	△12	△0
合計	937	1,002	+64	38	44	+6

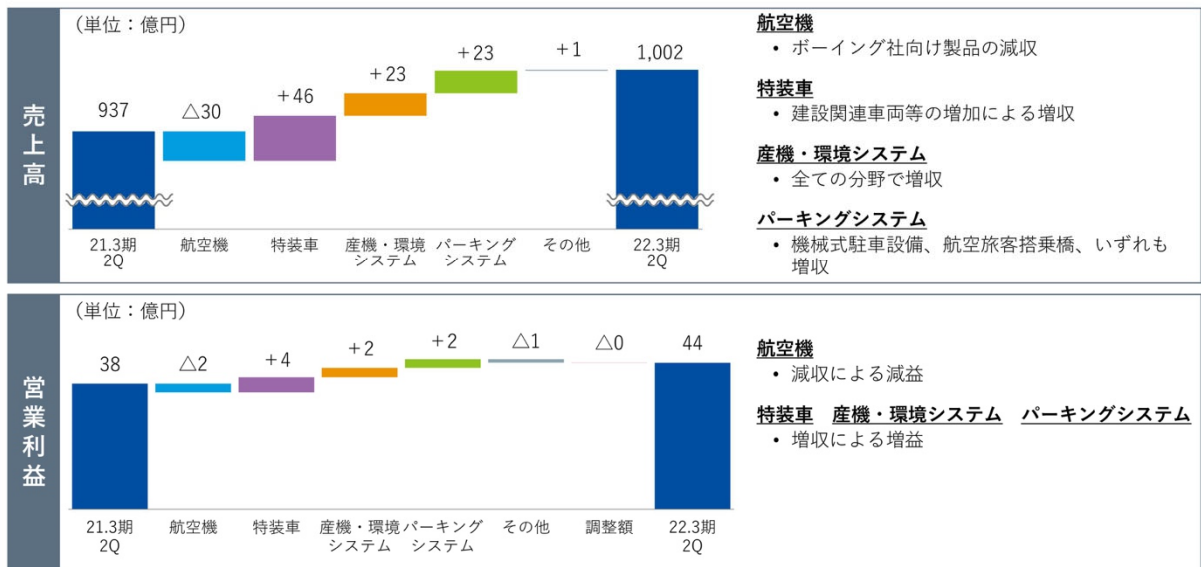
© 2021 ShinMaywa Industries, Ltd.

3

セグメント別の売上高および営業利益は、ご覧のとおりです。

セグメント別 増減分析（前年同期比）

ShinMaywa
VISION WITH INSIGHT



© 2021 ShinMaywa Industries, Ltd.

4

続いて、前年同期比の増減理由について、セグメント別に説明いたします。

こちらは、上段に売上高、下段に営業利益の増減理由を示しております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

まず、売上高について、航空機セグメントでは、ボーイング社向け製品の売上が減少したことなどから、30 億円の減収となりました。一方、特装車セグメントは、建設関連車両などの増加により、46 億円の増収となりました。

また、産機・環境システムセグメントは、流体製品、メカトロニクス製品、環境関連事業と全ての分野で増収となったことから、23 億円の増収となりました。パーキングシステムセグメントにおいては、機械式駐車設備、航空旅客搭乗橋の売上がいずれも増加し、23 億円の増収となりました。

続いて、営業利益については、航空機セグメントが減収に伴い 2 億円の減益となった一方で、特装車セグメントは、増収に伴い 4 億円の増益。産機・環境システムセグメント、パーキングシステムセグメントも、増収に伴い、それぞれ 2 億円の増益となりました。

2022年3月期 通期業績予想 サマリー

ShinMaywa
VISION WITH INSIGHT

(単位：百万円)

	2021.3期 実績	2022.3期 予想		増減 (増減率)	
		7月公表	10月公表	前期比	7月公表比
売上高	209,226	215,000	215,000	+5,773 (+2.8%)	—
営業利益	10,479	9,000	9,000	△1,479 (△14.1%)	—
経常利益	11,182	9,400	9,400	△1,782 (△15.9%)	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,487	5,500	5,500	+12 (+0.2%)	—
為替レート (1USD)	106.2円	108.0円	108.0円※		

前期比

- ✓ 航空機を除く全てのセグメントで増収を見込み、全体でも増収となる見通し
- ✓ 営業利益、経常利益は減益を見込むも、親会社株主に帰属する当期純利益は、特別損失の減少に伴い前期並みの水準となる見通し

※ 10月公表の為替レートについては、公表日以降の前提レートを表示しています。

© 2021 ShinMaywa Industries, Ltd.

5

続きまして、通期業績予想について説明いたします。

こちらは、10 月に公表した通期業績予想を前期実績と比較した表であります。

なお、ご参考までに、7 月に公表した通期業績予想を併記しておりますが、前回から変更は行っておりません。

売上高は、航空機を除く全てのセグメントで増収を見込んでおり、全体では前期比 57 億円増の 2,150 億円を見込んでおります。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

一方、利益につきましては、営業利益が14億円減の90億円、経常利益が17億円減の94億円と、ともに減益を見込んでおりますが、親会社株主に帰属する当期純利益は、前期に特別損失として計上した、パーキングシステムセグメントののれんに対する減損損失、および新型コロナウイルス感染症による損失などの減少に伴い、前期並みの55億円となる見通しです。

なお、この予想値の為替レートは、1ドル108円を前提としております。

事業環境（報告セグメント）

ShinMaywa
VISION WITH INSIGHT

セグメント		予想	事業環境（見通し）
航空機			民需関連において、「777/777X」「787」は依然低調。「787」は、ボーイング社の納入停止による生産計画見直しにより、期初計画を下回る見込み。中大型機の市場回復は、2023年度以降となる見通し。減収に伴う損失幅を最小限に抑えるべく、継続してコスト削減に取り組む。
特装車			需要は引き続き底堅く、受注残高についても2Q末時点で月商の8～9カ月程度（セグメント全体）を保有するも、鋼材価格上昇に加えて、海外調達先での新型コロナウイルス感染蔓延等に起因するシャシ搬入遅れの影響もあり、1Q決算時と比べて先行き不透明感が増加。
産機・環境システム	流体製品		国内官需向けを中心に、需要は底堅く推移する見込み。上期に株式を追加取得したターボブロワの製造・販売を行うTurboMAX Co., Ltd.の収益貢献にも期待。
	メカトロニクス製品		自動車産業向けの設備が売上の大半を占め、近年は米中貿易摩擦・コロナ禍の影響により顧客側の投資が抑制されていたが、自動車産業の設備投資意欲改善に伴い受注が復調。
	環境関連事業		主力事業のごみ中継施設が、2021年度から環境省の「循環型社会形成推進交付金」の交付対象施設となり、需要（入札案件）は増加傾向。これに付随して、来年度以降はストック事業も増加傾向。
パーキングシステム			当社の新設案件の7～8割を占める中・高層マンションの建設需要は引き続き堅調に推移する見込み。収益の柱であるメンテナンスや改修修理事業も堅調。売上の一部を占める航空旅客搭乗橋は、受注残高を確保しており今年度業績への影響は限定的ながら、空港施設の投資計画が一部先送りになるなど、受注環境は引き続き低調。

© 2021 ShinMaywa Industries, Ltd.

6

こちらは、当社の事業環境をセグメントごとに表した表です。

コロナ禍の影響により、航空機セグメントは、引き続き厳しい受注状況を見込んでおります。特に787については、ボーイング社の生産計画見直しにより、期初計画をさらに下回る見込みであり、継続してコスト削減に取り組んでまいります。

特装車セグメントにつきましては、引き続き需要は底堅く、2クォーター末時点で、半年を超える受注残高を保有しておりますが、一方で、主要材料である鋼材価格の上昇に加え、一部でコロナ拡大により海外調達先の生産が停滞したため、シャシ搬入遅れが生じるなど、1クォーター決算時と比べて、先行きの不透明感が増しております。

産機・環境システムセグメントにつきましては、まず流体製品において、のちほど詳しくご説明いたします。韓国のブロワメーカーであるTurboMAX社の株式追加取得に伴い、下期から同社の収益貢献が期待できること、また、前期まで低調であったメカトロニクス製品においては、自動車産

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

業の設備投資意欲の改善に伴い、受注が復調していること、加えて、環境関連事業においては、主力事業の需要が増加傾向にあることなどから、全般的に堅調に推移するものと予測しております。

パーキングシステムセグメントにつきましては、セグメント売上の約9割を占める機械式駐車設備におきまして、新設案件の多くを納入している中・高層マンションの建設需要は引き続き旺盛であり、収益の柱であるメンテナンスや改修修理とともに、堅調を維持すると予測しております。

2022年3月期 通期業績予想 セグメント別

ShinMaywa
VISION WITH INSIGHT

(単位：億円)

セグメント	売上高			営業利益		
	2021.3期 (実績)	2022.3期 (予想)	増減	2021.3期 (実績)	2022.3期 (予想)	増減
航空機	259	185	△74	△8	△13	△4
特装車	947	980	+32	67	60	△7
産機・環境システム	371	429	+57	29	35	+5
パーキングシステム	352	387	+34	32	32	△0
その他	160	169	+8	14	8	△5
調整額	—	—	—	△30	△32	△1
合計	2,092	2,150	+57	104	90	△14

© 2021 ShinMaywa Industries, Ltd.

/ 7

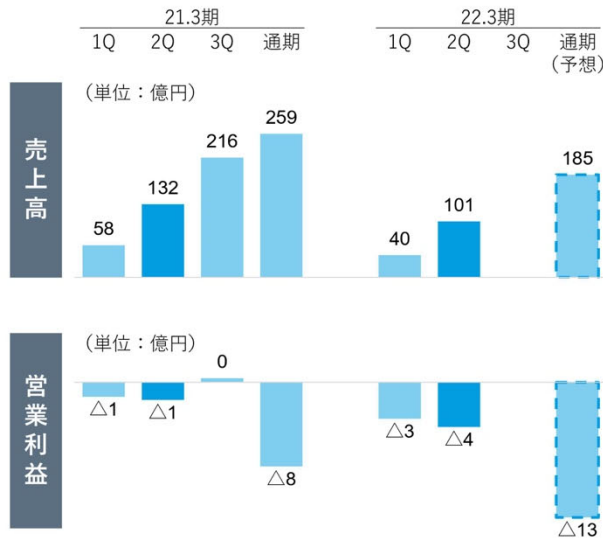
今、ご説明した事業環境予測を加味したセグメント別の売上高および営業利益の通期予想は、ご覧のとおりです。

合計額は売上高、営業利益、いずれも前回予想と変わりありませんが、内訳については見直しを行っております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally



第2四半期実績 (前年同期比)

■ 売上高

防衛省向け: US-2型救難飛行艇 修理関連の増加
民需関連: 「777/777X」「787」生産機数減少

■ 営業利益

・「777/777X」「787」生産機数減少、および操業度の低下による減益

通期業績予想 (前期比)

■ 売上高

防衛省向け: 輸送機向けコンポーネントの減少を見込む
民需関連: 「777/777X」「787」生産機数減少を見込む

■ 営業利益

・減収による悪化を見込む

□ 民需関連 生産機数 (単位: 機) □ 為替感応度 (公表日以降)

	2021.3期 2Q	2022.3期 2Q
777/777X	19	10
787	48	20
G7500	12	15

1円の円安進行で
約0.3億円の営業利益増

© 2021 ShinMaywa Industries, Ltd.

8

ここからは、セグメント別の第2四半期実績と通期業績予想について、第2四半期実績は前年同期比、通期業績予想は前期比で説明いたします。

まず、航空機セグメントです。

第2四半期実績につきましては、売上高は防衛省向けにおいて、US-2型救難飛行艇の修理関連作業が下期から前倒しとなったことなどに伴い増加したものの、民需関連において、ボーイング社向け製品の生産機数が減少し、全体では減収となりました。

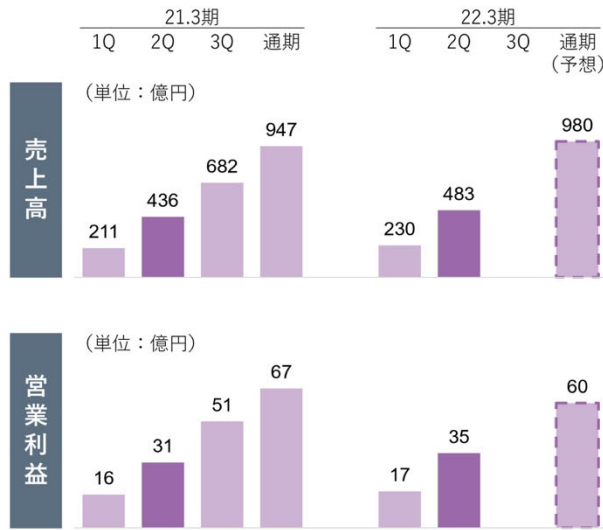
営業利益につきましても、前期から継続してあらゆるコスト削減に取り組んでおりますが、ボーイング社向け製品の生産機数減少、およびこれに伴う操業度の低下などが影響し、4億円の営業損失となりました。

なお、通期業績予想につきましては、売上高は防衛省向けにおいて、輸送機向けコンポーネントの減少を見込んでおり、民需関連においても、ボーイング社向け製品の生産機数減少を見込んでいることから、減収となる見込みです。

これにより、営業利益につきましても、13億円の営業損失を見込んでおります。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



第2四半期実績（前年同期比）

- 売上高
 - ・ 建設関連車両、トレーラ、林業用機械等の増加
- 営業利益
 - ・ 増収による増益

通期業績予想（前期比）

- 売上高
 - ・ 増収を見込む
- 営業利益
 - ・ 増収を見込むも、資材費（鋼材価格）等の増加により減益となる見通し

□ 受注残高の推移

	2021.3期				2022.3期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
受注残高（億円）	630	641	636	604	687	698
手持月数（カ月）※	8.9	8.8	8.4	7.7	8.9	8.7

※受注～売上平均期間、受注残高÷1カ月当たりの売上高で算出

© 2021 ShinMaywa Industries, Ltd.

9

次に、特装車セグメントです。

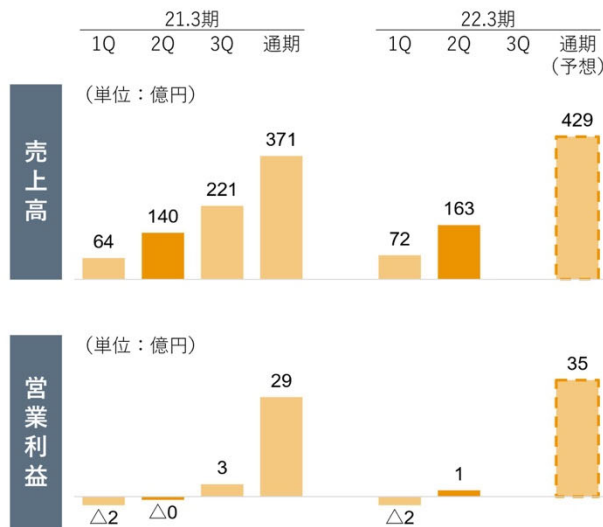
第2四半期実績につきましては、売上高は、建設関連車両やトレーラー、林業用機械などを中心に増加した結果、全体では増収となり、これを受けて、営業利益につきましても増益となりました。

通期業績予想につきましては、売上高は、部品入荷遅れなどの懸念はあるものの、需要自体は下期以降も高水準を維持し、受注残高についても2クォーター末現在、セグメント全体で月商の8から9カ月分を保有していることなどから、通期では増収を見込んでおります。

一方、営業利益につきましては、鋼材価格を中心とした資材費の上昇幅が期初想定よりも厳しさを増しており、利益を下押しする懸念を加味して、減益を見込んでおります。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



第2四半期実績（前年同期比）

■売上高

流体製品：民需・海外向けの増加
メカトロニクス製品：自動電線処理機、真空製品の増加
環境関連事業：新設案件工事の増加

■営業利益

・増収による増益

通期業績予想（前期比）

■売上高

流体製品：M&A効果による増収を見込む
メカトロニクス製品：自動電線処理機、真空製品の増加を見込む
環境関連事業：増収を見込む

■営業利益

・増収による増益を見込む

© 2021 ShinMaywa Industries, Ltd.

10

続いて、産機・環境システムセグメントです。

こちらのセグメントは、流体製品において、官公庁向けの売上比率が高く、収益の計上時期が、第4四半期に偏重する傾向がございます。

第2四半期実績につきましては、売上高は流体製品において、コロナ禍の影響を受けていた民需・海外向け需要が復調してきたこと、または自動車産業向けが中心のメカトロニクス製品においても、コロナ禍の影響により、顧客側が設備投資を抑制されていた前期に比べ、主力の自動電線処理機、真空製品の受注がともに復調傾向にあること、環境関連事業も堅調であることから、全ての分野で増収となりました。

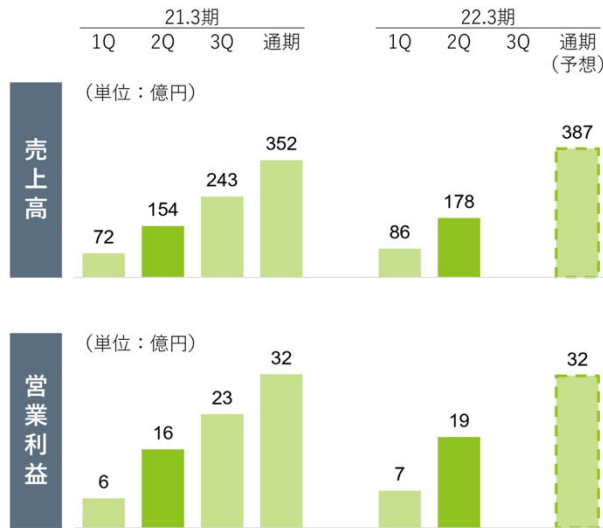
営業利益につきましては、増収による増益となりました。

通期業績予想につきましては、売上高については、流体製品において、TurboMAX 社の子会社化により、下期から同社の業績が連結売上高に加算されること、また、メカトロニクス製品においても、ワイヤーハーネスや真空関連分野で、設備投資の回復基調が続く見込みであることなどから、全体では増収を見込んでおります。

これにより、営業利益につきましても増益を見込んでおります。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



第2四半期実績（前年同期比）

■ 売上高

機械式駐車設備：新設案件、改修修理の増加
航空旅客搭乗橋：国内、海外ともに増加

■ 営業利益

- ・ 増収による増益

通期業績予想（前期比）

■ 売上高

機械式駐車設備：新設案件の増加を見込む
航空旅客搭乗橋：国内で増加を見込む

■ 営業利益

- ・ 運営費の増加を見込むも、増収により全体では前期並みの水準となる見通し

© 2021 ShinMaywa Industries, Ltd.

11

最後に、パーキングシステムセグメントです。

第2四半期実績につきましては、売上高は主力の機械式駐車設備において、新設案件や改修修理案件が増加したことなどから、全体では増収となりました。

これにより、営業利益も増益となりました。

通期業績予想につきましては、売上高は機械式駐車設備において、上期に引き続き、新設案件の増加を見込んでおり、セグメント全体で増収となる見込みです。

また、営業利益は、コロナ禍で営業活動が抑制された前期と比べて、運営費の増加を見込むものの、増収効果により、全体では前期並みの水準となる見込みです。

セグメント別の業績数値の説明は、以上となります。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

1 前中期経営計画で掲げた「基盤事業の規模拡大・収益向上策」の継続と成果刈り取り

前中期経営計画 注力テーマ：

- ・ 製品・サービス
- ・ 海外市場
- ・ M&A、アライアンス

2 「長期ビジョン」に基づく「長期事業戦略」の策定・推進

- ・ 既存事業の収益向上
- ・ 海外事業の拡大加速
- ・ 新規事業の開発
- ・ 事業ポートフォリオの最適化

3 経営基盤の強化

- ・ 【E】 地球温暖化防止と循環型社会への貢献
- ・ 【S】 ダイバーシティ&インクルージョンの推進
- ・ 【G】 コーポレートガバナンス体制の充実
- ・ DX推進のためのIT基盤構築

4 将来価値の創出とステークホルダーとの成果の共有

- ・ ROIC経営の実践
- ・ 利益の一定水準をステークホルダーと共有（配分）

※ 2024.3期を最終年度とする新たな中期経営計画の略称

© 2021 ShinMaywa Industries, Ltd.

13

続きまして、ここからは、当社グループの海外事業展開について説明いたします。

初めに、本年4月にスタートした中期経営計画「SG-2023」の基本方針についてご説明いたします。

「SG-2023」は、当社グループが、2030年に目指す姿として掲げる長期ビジョンの実現に向けた、長期経営計画「SG-Vision2030」の第1ステップと位置付け、ここに示した四つの基本方針を掲げております。

その中で1項に示すとおり、前中期経営計画においても注力テーマとして取り組んだ海外市場については、「SG-2023」での成果刈り取りとともに、継続課題と捉えて取り組みを強化してまいります。

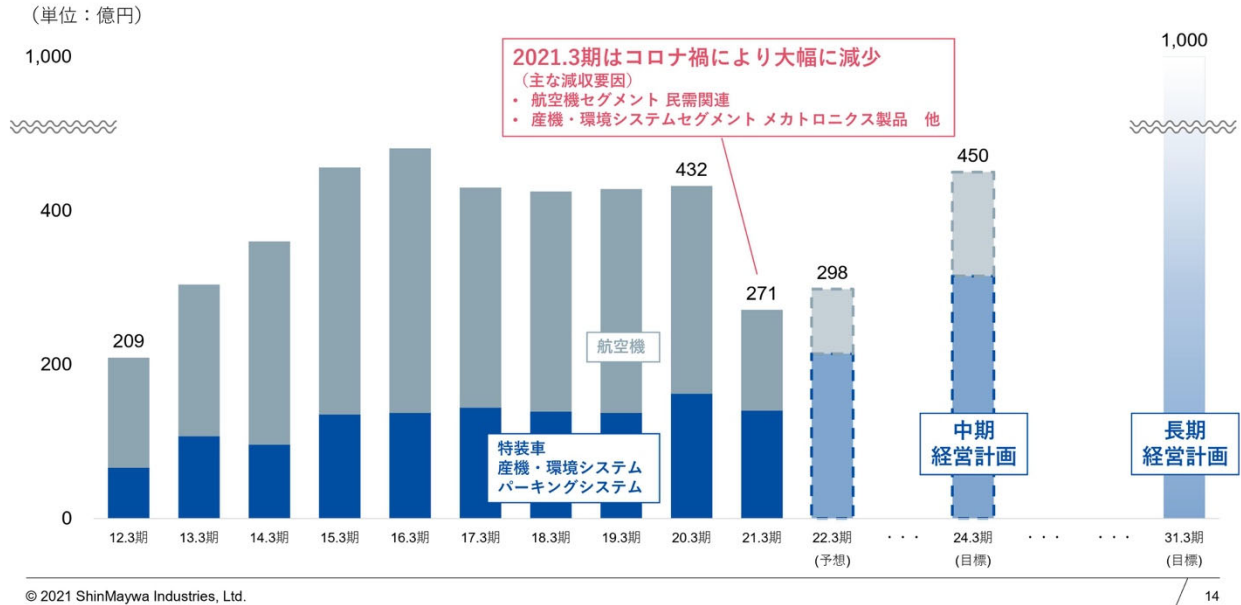
また、2項に示します「SG-Vision2030」の活動の柱となる長期事業戦略の策定・推進においても、海外事業の拡大加速は、目標とする業績水準に到達する上で、大変重要なテーマであります。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

海外売上高の推移

ShinMaywa
VISION WITH INSIGHT



こちらは、当社グループの海外売上高の推移を示したグラフです。

起点に置いた 2012 年 3 月期は 209 億円でしたが、棒グラフ上段のグレーで示す航空機セグメントにおいては、ボーイング社 777、787 向けコンポーネントの増産により、コロナ禍直前の 2020 年 3 月期では 432 億円と、2012 年 3 月期比で 2 倍以上に増加しております。しかしながら、2021 年 3 月期は、航空機セグメントの民需関連事業がコロナ禍の影響を大きく受けたことから、前期と比べて大幅に減少いたしました。

当社グループは、中期経営計画「SG-2023」において、2024 年 3 月期の海外売上高目標値を 450 億円としておりますが、この目標値に到達するには、当面市場の回復が望めない航空機セグメントの民需関連事業に依存せず、他のセグメントにおいて、海外事業の拡大を進めることが必須となります。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

海外事業拡大を志向した主な施策の進捗 セグメント別

セグメント		主な施策	進捗
特装車		① タイの生産拠点を活用し、タイ市場を中心とするダンプ用シリンダーの拡販 ② ターゲット地域への架装部分のキット販売	① めっき工場を建設し、生産体制を強化 タイ国内では高シェア（21年度4-9月累計57%）獲得 ② アジア・オセアニア地区における市場調査を継続
産機・環境システム	流体製品	① タイに新設した生産・販売拠点の活用 ② TurboMAX Co., Ltd.（以下、TurboMAX社）との販売シナジー強化による海外事業拡大	① 特装車のタイ生産拠点を活用し、ポンプの組立工場を建設（2021年2月に初出荷） ② 2021年6月に株式取得が完了し、連結子会社化（2022.3期3Qから連結損益計算書に反映）
	メカトロニクス製品	韓国真空株式会社 EV用リチウムイオン二次電池向け真空乾燥装置の売上拡大	✓ 2021.3期までは米中貿易摩擦やコロナ禍で苦戦するも、中期目線で増加傾向にある自動車産業の設備投資意欲改善に伴い受注が復調 ✓ 新規参入の車載電池メーカー（欧州）から受注を獲得するなど、引き合い増加
パーキングシステム	機械式駐車設備	GENERAL AUTOMATIC CARS PARKING SYSTEM CO., LTD.（以下、G-PARK社）との協業による東南アジアでの駐車設備事業拡大	✓ G-PARK社の本社内に、多様なオプション仕様を盛り込んだショールームが完成 ✓ G-PARK社と一体となったエレベータ方式駐車設備の営業活動により、引き合い増加

© 2021 ShinMaywa Industries, Ltd.

15

こちらは、航空機を除くセグメント別に、海外事業の拡大を志向した主な施策と進捗状況を示した表です。

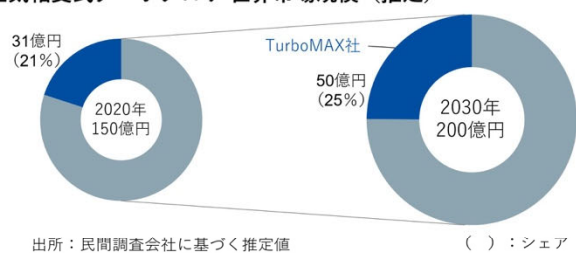
この中から、近年新たに当社グループに加わり、今後、業績伸長のドライバーとして期待する産機・環境システムセグメントの海外法人2社を取り上げ、会社概要と主力事業製品についてご説明いたします。

TurboMAX社との販売シナジー強化による海外事業拡大 ①

■ 会社概要

会社名	TurboMAX Co., Ltd.
住所	大韓民国忠清北道清州市
設立	2007年2月
従業員数	81名（2021年9月末現在）
事業内容	ターボプロワの設計、製造、販売
出資比率	81%
売上規模	31億円（2020.12期実績）

■ 空気軸受式ターボプロワ 世界市場規模（推定）



■ ターボプロワの概要



【用途】

✓ 下水処理場等に「ばっ気」装置として用いられ、水質改善を促す装置

【TurboMAX社の強み】

✓ 高い省エネルギー性を実現する空気軸受を用いた高速回転技術を保有

空気軸受式可変速単段ターボプロワ「ターボマックス」

© 2021 ShinMaywa Industries, Ltd.

16

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

1 社目は、流体事業において、本年 6 月に新たに連結子会社化した TurboMAX 社についてご説明いたします。

TurboMAX 社は、高い省エネルギー性に加え、低騒音、省スペース、省メンテナンスに優れているターボブロワを製造、販売する韓国の企業です。

ブロワとは、主に下水処理場などにおいて水質改善を促すために、汚水内に空気を送り込む、ばっ気装置として用いられる製品です。このばっ気に、処理場で使用する電力の約半分が消費されており、その消費電力を削減することは、社会的課題の解決にもつながります。

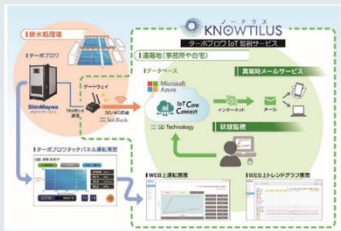
TurboMAX 社は、空気軸受を用いて、インペラー、羽根車を高速回転させる技術を保有しており、この技術力を背景に開発されたターボブロワは、韓国、日本をはじめ、グローバル市場で高く評価されており、世界でトップクラスのシェアを誇っております。

右上に示す円グラフは、空気軸受式ターボブロワの世界市場規模の推定値です。現在、ターボブロワの市場規模は 150 億円程度ですが、今後 10 年間で 200 億円規模と、約 3 割拡大する見通しとなっております。

TurboMAX社との販売シナジー強化による海外事業拡大 ②

ShinMaywa
VISION WITH INSIGHT

■ 主なシナジー効果

「KNOWTILUS」の グローバル展開	日本国内のアフターサービス 取扱い範囲拡大	商流の相互活用
 「KNOWTILUS」（遠隔監視・不具合箇所通知機能）は、これまで当社が日本国内のみを対象に販売 TurboMAX社販売製品にも搭載し、グローバル市場での製品競争力強化	 ターボブロワのキーコンポーネントは、TurboMAX社での整備が必要 国内グループ会社での技術習得が可能となり、国内でのアフターサービスの品質が向上	 新明和工業： 北米・東南アジアを中心に水中ポンプを海外展開 TurboMAX社： 韓国のほか、近年では中国・欧州・インドでも販売実績が増加 両社が保有する商流（代理店）を活用した相互販売が可能に

© 2021 ShinMaywa Industries, Ltd.

17

今後は、当社において開発したターボブロワの遠隔監視システム、KNOWTILUS を TurboMAX 社販売製品にも搭載することで、グローバル市場での製品競争力をさらに強化するとともに、これまで、日本国内では対処できなかったアフターサービス事業にも注力してまいります。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

両社の商流を相互に活用し、販売面でも連携することで、2030年には世界シェア25%、売上高50億円規模の達成を目指してまいります。

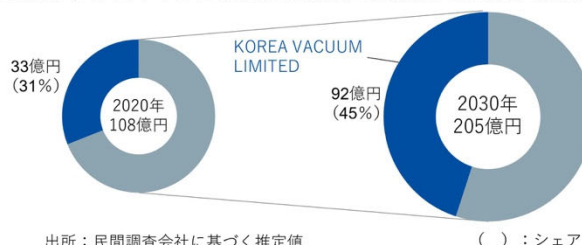
韓国真空株式会社 EV用リチウムイオン二次電池向け真空乾燥装置の売上拡大

ShinMaywa
VISION WITH INSIGHT

■ 会社概要

会社名	KOREA VACUUM LIMITED (韓国真空株式会社)
住所	大韓民国大邱広域市
設立	1998年12月
従業員数	80名(2021年9月末現在)
事業内容	真空装置の製造等
出資比率	70%
売上規模	41億円(2020.12期実績)

■ EV用リチウムイオン二次電池向け真空乾燥装置 世界市場規模(推定)



出所：民間調査会社に基づく推定値

()：シェア

■ 真空乾燥装置の概要



【用途】

✓ リチウムイオン二次電池の製造工程において、電極乾燥時に使用される主要装置

【韓国真空株式会社の強み】

✓ 20年以上かけて培ってきた独自の真空乾燥技術・ノウハウを保有

© 2021 ShinMaywa Industries, Ltd.

18

2社目は、韓国真空株式会社です。

1999年に携帯電話向けリチウムイオン二次電池用の真空乾燥装置を納入して以来、20年以上にわたって培ってきた独自の真空乾燥技術とノウハウを有しております。

現在、同社の主力製品は、EV用リチウムイオン二次電池の製造において、電極を乾燥する工程で使用される真空乾燥装置です。

右上の円グラフに示すとおり、EVのさらなる普及により、真空乾燥装置の世界市場は、今後10年間で約2倍の200億円規模にまで拡大すると予測されております。

同社は、韓国国内で圧倒的なシェアを誇りますが、これに加えて、今後は、自動車開発企業が多く集まる欧州を中心に営業活動を展開し、2030年には世界市場シェア45%、売上90億円規模を目指して、当社グループとの販売連携を強化してまいります。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

長期・中期経営計画で掲げる海外売上高の目標値達成に向けて、以下の取り組みを実施

■ 「長期ビジョン」に基づく長期事業戦略 策定・推進テーマ

海外事業の
拡大加速

- ・ 東南アジアを中心にセグメント間の生産・販売連携を強化
- ・ 現地企業・商社とのアライアンス強化による受注拡大

具体的な取り組みの一例として、以下の事項を遂行・検討中

- ✓ タイの生産拠点を活用した特装車、流体事業の効率運営・生産体制強化
- ✓ 特装車・流体・パーキングシステム事業を中心とした、現地企業・商社等とのアライアンス強化による新規市場開拓
- ✓ シナジー効果が期待できる新たなM&A先の検討・調査

最後に、長期・中期経営計画で掲げる海外売上高の目標値達成に向けた、今後の取り組みについてご説明いたします。

中期経営計画「SG-2023」では、先ほどご説明しましたとおり、四つの基本方針の一つとして、長期事業戦略の策定・推進を掲げ、海外事業の拡大加速を主要テーマと位置付けております。

重点エリアを東南アジアと定め、セグメント間の生産・販売連携を強化するとともに、現地企業や商社とのアライアンス強化も視野に、受注拡大に取り組んでまいります。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

■ タイの生産拠点を活用した特装車、
流体事業の効率運営・生産体制強化



タイの生産拠点 (Thai ShinMaywa Co., Ltd.)

■ 特装車・流体・パーキングシステム事業を
中心とした、現地企業・商社等との
アライアンス強化による新規市場開拓



G-PARK社の敷地内に完成した
ショールーム仕様の駐車設備
「G-PARK & ShinMaywa Tower」

© 2021 ShinMaywa Industries, Ltd.

20

ここで、現在進めている具体的な取り組みの一例をご紹介します。

左の写真は、タイの生産拠点です。近年、特装車のタイ生産拠点の敷地内に、流体事業、水中ポンプの組立工場を新設いたしました。今後は、事業部間の連携を強化し、同拠点を活用した生産体制の強化と効率運営を図ってまいります。

右の写真は、パーキングシステムセグメントが、タイのエレベータ方式駐車設備の販売で、業務提携を結んだ現地企業、G-PARK 社の敷地内に設置した、ガラス張りのショールーム仕様の同設備です。同社とのアライアンス強化により、既に9基を受注し、引き合い件数も増加しております。

こうした手段を活用して、新規市場を開拓するとともに、シナジー効果が期待できる新たな M&A 先の検討・調査についても、事業部と本社部門が連携して取り組んでまいります。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

経営指標	2021.3期 実績	中期経営計画 2024.3期 目標	長期経営計画 2031.3期 目標
売上高	2,092億円	2,500億円	4,000億円以上
海外売上高	271億円	450億円	1,000億円以上
営業利益	104億円	150億円	—
ROE	6.4%	10%以上	12%以上
ROIC	5.1%	7%以上	10%以上

今回ご説明した一連の取り組みの進捗、結実により、中期経営計画「SG-2023」の目標に掲げる海外売上高 450 億円の達成、そして長期経営計画「SG-Vision2030」で志向する海外売上高 1,000 億円への布石を打ってまいります。

以上をもちまして、2022 年 3 月期第 2 四半期の決算説明を終了いたします。最後までご視聴いただきまして、誠にありがとうございました。

[了]

脚注

1. 音声不明瞭な箇所に付いては[音声不明瞭]と記載

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、当社は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。さらに、利用者が当社から直接又は間接に本サービスに関する情報を得た場合であっても、当社は利用者に対し本規約において規定されている内容を超えて如何なる保証も行うものではありません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて会員自身の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者自身が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による本規約に基づく利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して会員が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com